刊

世界の化粧品メ は25回)となり、

(第3種郵便物認可)

次流通での化粧品購入実態を調査 を試してから購入したいと回答

ある」と回答した。 購入を躊躇したことが で試すことができず、 にテスターやサンプル また、事前にテスタ

クションサイトなど

化粧品の試し買いした

めに接客を受け

9割がサンプルやテスタ-

関係について聴取した ところ、9割が「事前 使用と、化粧品購入の ややそう思う」と答え、 テスターやサンプルの 約9割が「そう思う/ ンプルやテスターを試 してから購入したい」 いう問いに対して、

れる面積の広いアイテ 後悔したアイテムにつ 敗した・後悔した経験」 高かった。 アイテム、失敗した・ 割が「ある」と回答。 ムであるスキンケア、 いて尋ねると、肌に触 ベースメークの割合が 、際に購入を躊躇した フリマアプリやオー

化粧品購入時は「サ の有無についても約9 すことができず、「失 やサンプルなどで試

うち5割強が化粧品の の化粧品を試したいか ら」であり、次いで「そ 5割強があると回答、 あるか聴取したところ ら」が挙げられた。 最も多かったのは「少 購入する理由として、 購入経験があると回答 しでも安く買いたいか さらに、二次流通で 二次流通で化粧品を

通での化粧品購入に関するアンケート調査を実施した。 こ次流通市場において新型コロナウイルスが生活者に与えた影響で、二次流通市場において新型コロナウイルスが生活者に与えた影響でった。また併せて、その背景にある化粧品購入における生活者心理の影響を明らかにすべく、化粧品の二次流通市場に関する実態調査をアイスタイルは、化粧品の二次流通市場がもたらす一次流通市場へ

次流通での購入経験が 答した。 尋ねたところ、 粧品を「試し買 い」する理由を とがある」と回 二次流通で化

等、店に行くま を省ける」「店 倒」「買わない 頭に行くのが面 気になるから」 といけない雰囲 での時間やサン 「店に行く手間 ルをもらうた

@cosme

@cosmeにおける 「二次流通での化粧品 購入実態調查

も店頭でテス の相性を確か とへの躊躇は コロナ終息後 意見も挙がっ めたいと言う 一方、新型 ーーズに応える新たな ービス開発の余地は

を目指す。

業価値の向上と事業発展 能を強化し、さらなる企 った企画・開発・製造機

る市場ニーズとクライア ント企業の事業戦略に沿

天真堂では、多様化す

試し買い後、正規販売 割強が「二次流通での リピート購入をしたこ ことのある人のうち7 - ト (一次流通) で

スキンケアや下地との さらに、「使っている る声が多くみられた。 ドルの高さなどを挙げ る時間、心理的なハー ちの化粧品と でなく、手持 いった、自身 との相性だけ きるから」と 相性を確認で

ことが予想される。 組みといえ、そうした 入前の体験機会提供 を満たす「試し買い」 事前に試したいニーズ とから、商品購入前に ると思う」との回答が く、スキンケアにおい ためのカギを握る取り 活者に広く支持される は、今後も、商品が生 なく今後も続いていく スメークの比率が高 にメークアップ、ベー 5割を超えた。このこ ても「終息後も躊躇す 一時的なものでは 購

ence 2021)[°, 中間大会2021」(I の研究発表会「国際化粧 粧品技術を競う世界最大 FSCC Confer カンクンで開催された化 もえ) 研究員が、10月18 | 山頭発表部門の「最優秀 品技術者会連盟カンクン 日~10月28日にメキシコ 究所の堤も絵(つつみ・ 全285件の研究報告 資生堂 みらい開発研 最優秀賞は通算25回目、世界最多の受賞回数を更新 2021で「最優秀賞」を受賞 FSCCカンクン中間 堤 氏 る「IFSCC S」とその間の 肌」が選ばれた。 一発表250件)のうち、 ると通算29回目 年に開催され O IFSCC 紐解く美しい メルケル細胞が 堤研究員の研究発表「触 Congres 感をつかさどる nce」を含め Confere (うち最優秀賞 (口頭発表35件、ポスタ 今回の受賞 隔年開催 ● メルケル細胞(矢印) 回数となる。 ーカーの中で最多の受賞 研究では、触覚を担う 大会 100 µm

●多光子顕微鏡により観察したメルケル細胞と神経線維

化粧品付着防止の新技術で IFSCC最優秀ポスター賞を受賞

参加し、日本の研究開発

クへの化粧品の転着を気

コロナ禍に見舞われマス

グロ

ノミ

ル伸和製薬の

全事業を統合

前門に所属する菅友美研

の前に対して

の前に対して

の前に対し

の方式

ン中間大会2021」に 盟(IFSCC) カンク ロレアル

グループの研究開発部門

50件の中から最優秀ポ

スター賞を受賞した。

術」が、ポスター発表2 などへの付着を防ぐ新技

カーである仏・ロレアル

世界最大の化粧品メー

チ&イノベーションは、

国際化粧品技術者会連

の衣服などへの付着を防

受賞テーマは「化粧品

ができる。また、この膜

化を目指す。

ぐ新技術」。全世界的な

であるロレアル リサー

氏

究員による「化粧品衣服

ル粒子)と呼ばれる素材 を用いてこの問題に対処 する新たな技術を開発し complex Gel Particle、ポリ イオンコンプレックスゲ

GP (Polyion

にする人が増える中、P 社として連携を築いてき 9年より同一グループ会 (松﨑淳社長)は、201 OEMメーカーの天真堂 機能性表示食品 薬用化粧品

答が多くみられた。特 たグローバル伸和製薬

幡平工場」として製造機 ル伸和製薬の事業所は、 売を主力とするグローバ 能を担う。 新たに天真堂の「岩手八 とした健康食品の製造販 吸収分割により承継した。 全事業を、11月1日付で 木、伊藤出代表取締役)の 今回の吸収分割によ プロテインをはじめ

(岩手県八幡平市松尾寄 松﨑社長 が衣服やマスク 上で作ることが って作成した化 た。 でき、かつ色材 かな膜を皮膚の 強い均一で滑ら で、汗や水にも 粧品処方は、軽 いテクスチャー この技術を使

とを、モナステリウム研

り受容体が活性化するこ を持つ合成香料により香

続して触覚を脳に伝える 末梢神経がハリやたるみ

らに、メルケル細胞と接 グ法により証明した。さ のライブセルイメージン ト皮膚培養系やヒト皮膚

際に肌に触れることな を発見。これにより、実 持にも関与していること

究所と共同で発見し、ヒ

に関連する真皮の構造維

が示された。

状態を改善できる可能性 ケル細胞を活性化し、肌 く、香りによって、メル サンダルウッド様の香り

細胞であるメルケル細胞 に香り受容体が発現し、

への色移りを抑えること クアップ製品の早期具現 RESEARCH 移りのないメー

リーン製品や色 る。この技術を 対する効果が持 より、紫外線に 応用することに 復する機能があ 続するサンスク きによって傷が は摩擦やひっか ついても自己修

していく。 も、天真堂が引継ぎ運営 バル伸和製薬が運営して ト、 ECモールについて きた自社通販のECサイ なお、これまでグロー